

私は耳が不自由です
↑ 戸田市議会議員 無所属 42歳
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ 佐藤 太信



↑
バリアフリー
実現!

HPはコチラ



- 昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴 ●戸田東小学校卒 ●戸田東中学校卒 ●県立浦和商業高校
- 中央大学法学部卒 ●大正大学院修了(臨床心理学) ●CAオーロニカレッジ留学
- 東京電力入社(安全管理業務) ●児童福祉施設(社会福祉法人)
- 都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談)

【所属】戸田市身体障害者福祉会会長、福祉で災害ネットワーク会長、戸田市聴力障害協会
 【資格】臨床心理士、第二種電気工事士 【座右の銘】継続は力なり
 【家族】妻(バイオリニスト)、猫5匹 趣味:温泉めぐり、マラソン
 【発行】佐藤太信 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目5-4-15 TEL/FAX 048-494-6439

ホームページ

<https://satotakanobu.com/>

メール

info@satotakanobu.com

ご挨拶

皆様、いかがお過ごしでしょうか。オミクロン対応の新型コロナウイルスワクチン接種が現在進められております。学校内でのマスク着用についてなかなか緩和されない一方で、病気や障がい等の事情がある子へのマスクは外してもよいといった配慮はなされています。新型コロナウイルスが出現してから3年が経過しましたが、文科省での新型コロナに関するガイドラインは変わりません。Withコロナに向けたガイドラインを考える時期にきています。

令和4年3月定例会

多様な生涯学習メニューを！



学びなおすことを目的とした「リカレント教育」、人生100年時代の中で生きる希望や楽しみが実感できる生涯学習の推進が求められます。

現状と課題

- 1 パソコンを所有しておらず、デジタル化に対応できない人がいる
- 2 自ら講座を企画し、市が実施する市民企画講座を開催したいとの要望がある
- 3 子育て世代が参加しやすくするために託児サービスを増やしてほしいとの要望がある
- 4 外出が難しい方や人前に出るのをためらう障がいがある方への配慮が少ない

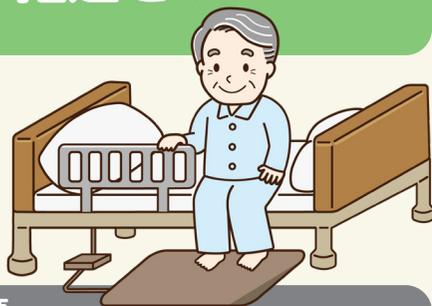
今後の取り組み

- 1 市内の各公民館では毎月1回スマホ・パソコン質問コーナーを設け、対応する
- 2 自ら申請することにより、市民企画講座が実施できる案内周知を実施する
- 3 様々な託児サービスを含め、子育て世代への学びの支援の充実策を検討する
- 4 オンデマンド講座を含め、手話通訳やチラシ作成等の配慮ができるよう工夫する

令和4年6月定例会

1. 認知症対策の推進を！

戸田市では65歳以上の1割である約2,300人が認知症と見込まれています。身体的な機能が衰えても誰もが住みやすいまちへと対策が求められます。



現状と課題

- 1 加齢による難聴は毎年増加している。難聴は認知症の原因ともなりうる大きな課題
- 2 認知症サポーター受講後、活動を希望され活躍の場がない方が約300人いる
- 3 認知症は周囲の理解、見守りが必要。認知症対策がなかなか進まない
- 4 買い物や移動支援等を実施している連絡先がわからない。地域資源マップを知らない
- 5 介護事業所のBCP(業務継続計画:災害や感染に備える計画)作成が義務、作成していない事業所がある

今後の取り組み

- 1 難聴の実態調査、難聴が与える影響について高齢者本人やご家族への周知方法等を検討する
- 2 認知症サポーターと本人や家族のニーズに合った支援につなげる「チームオレンジ」を検討する
- 3 認知症に対する周囲の理解、周知啓発が進むよう認知症対策を推進する条例制定を検討する
- 4 浦安市などを参考に、サービス一覧表がわかるように地域資源マップの見やすさを検討する
- 5 BCP(業務継続計画)作成支援後、事業職員への周知や研修など実施状況を確認する

2. 性的少数者にとって住みやすいまちづくりを！

「戸田市におけるパートナーシップ認証制度(仮称)及び性的少数者に関する諸問題への取組に関する請願」を採択(令和2年6月議会)。令和4年10月11日にお互いに人生のパートナーとして生活を共にすると約束したLGBTQのカップルにパートナーであることを市が証明するパートナーシップ制度を開始、誰もが住みやすい環境整備が求められます

現状と課題

- 1 行政申請書等における性別欄の見直しが進まない
- 2 パートナーシップ制度、子どもを家族として認めるファミリーシップ制度の適用範囲は居住地の自治体のみとなっている

今後の取り組み

- 1 行政申請書等における性別欄の見直しは、全386件のうち210件について進めており、更なる取り組みを進める
- 2 制度の適用範囲は居住地のある自治体のみ。他自治体との連携、協定締結は、制度施行後、近隣自治体の状況を見ながら検討する



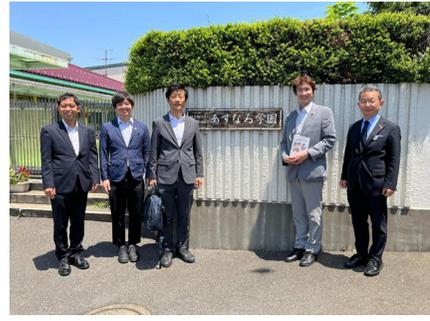
議会活動・視察

インクルーシブ公園視察



豊島区にある「としまキッズパーク」は、障がいのある子どもない子どもと一緒に遊べる公園です。車椅子に乗ったまま遊べる砂場、背もたれが安定するブランコ等が設置されています。障がい児のある親からは、他の人の目が気になり、公園で遊ばせることに抵抗があると聞きます。市内に誰もが遊べる遊具の設置を求めていると考えております。関心のある方はご意見いただけたら幸いです。

あすなる学園視察



昭和53年に戸田市と蕨市が共同で設立した児童発達支援センターです。就学前の発達相談、保育所訪問等を定期的に行っています。建物の老朽化、地域で学べる環境づくり等は今後の課題です。ご意見いただけたら幸いです。

しげんCaféわくわく



東京都は「ソーシャルファーム条例」があり、主として障害のある方など就労に困難を抱える方が仕事をする場を促進する取り組みです。東京都北区にあり、カフェやリサイクルショップを運営しています。戸田市としてどうしたら就労支援の枠を広げられるのか、他自治体の例を参考にしたいです。

ご意見対応

図書館駐車場改修工事



市立中央図書館の駐車場から入口までの通路です。雨が降った際は、水たまりの中を通らなければならずとても不便でした。排水溝を設置いただけてからは、だいぶ改善され、ベビーカー利用者や車椅子も歩きやすくなりました。

水害避難訓練



新曽北小学校を避難場所とした水害避難訓練に参加してきました。訓練に参加された人数は330人です。水害について学べる防災学習イベントが同時開催され、参加の子どもが多いと感じました。

あいパルキャンドルナイト



地球温暖化防止に関わる消灯運動です。私たちは日常生活の大部分を電気に頼っています。引き続き環境問題を意識してまいります。

戸田市役所 庁舎スロープ改修等工事

新型コロナウイルス感染症の影響により延期していた庁舎スロープの解体工事が以下の工程で開始されます。

庁舎2階正面玄関前のスロープを撤去し、アプローチ階段、エレベーター、屋根つきの車寄せ等を設置、イベント等に活用できるスペースへとリニューアルの予定となっています。

令和4年11月頃～
令和5年1月頃

園庭の撤去



令和5年1月頃～
令和5年3月頃

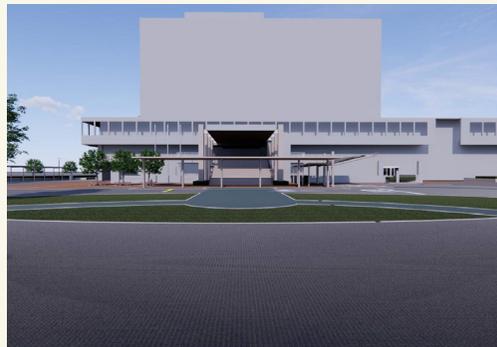
車路の整備、駐車スペースの増設整備(9台)

令和5年4月頃～
令和5年11月頃

スロープ解体撤去、大階段・エレベーターの増築



《現在の庁舎》



《工事後完成予想図》

【令和4年度補正予算】

学校給食センター条例の一部を改正

第3子以降の給食費の免除措置を開始
給食費を一度納入し、支払確認後に一括で補助
→(施行後)減免決定後、給食費の支払いなし
施行:令和5年4月1日から



戸田型校内サポートルーム「パレットルーム」 792万2千円

不登校傾向にある児童の居場所として設置しているサポートルーム、現在は新曽、笹目、美女木小学校3校のみに設置されています。小学校段階から適切な支援のための選択肢として期待されています。小学校全校に拡充させるための補正予算です。

【林議員の問責決議案可決】

林議員の問責決議案可決

平成30年3月の戸田市長選挙を巡り、刑法第230条の名誉毀損罪の容疑で起訴され、令和4年8月に罰金30万円の有罪判決が確定しました。戸田市議会として、林冬彦議員に対し、責任を強く問うため、問責決議案を提出し、可決されました。

最後までお読みいただきありがとうございます。市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

メール info@satotakanobu.com TEL/FAX 048-494-6439

